

集客ビジネスに関する調査研究

New Urban Planning in Sakai City

キーワード Key Word	五感都市、五感回復、五感産業 sensory oriented city, recovery of five senses, sensory-oriented industry
--------------------------	---

1. 調査の目的

21世紀は、近代化のなかで傷ついてしまった環境、人を回復するところからはじまる。「地球温暖化」に代表される環境の問題、「癒し」や「スローライフ」を求める人の問題を都市・国家のなかでどのように解決していくかが鍵となる。

一方、堺は、かつて日本と世界を結ぶとびきりのノードであった。打刃物、茶の湯など堺から日本へひろがったものも多々ある。ポルトガルやオランダ、切支丹といった外来文化にも敏感に反応し、日本流に編集してみせた。堺は、日本のなかでも「感度の高い都市」であった。

そのような時代認識の中で、我々は「五感都市 SAKAI プロジェクト構想」を提唱した。それは、近代化のなかで傷ついてしまった環境（地球）・五感（人）を修復・回復し、人と環境が対立することなく「自然」と豊かな「五感都市」を堺において構築し、日本全国、世界へ向けて「五感都市 SAKAI」を発信しようとするものである。

2. 調査研究成果概要

(1) 基本コンセプト: 五感を回復する都市づくり

急速な近代化、都市化の中で、傷ついたのは環境ばかりではない。「人」という環境もまた傷ついてしまった。

近代はあまりに刺激的に過ぎた。「癒し、ゆとり、スローライフ」などの静かな流行は、人間の本来の姿を回復したという願いの表れである。都市の中で暮らす人々は、都市の中で五感を回復しようとしている。「五感を回復する都市づくり」は、21世紀の都市づくりのモデルになる。

(2) 主な事業領域

今回提案する「五感都市 SAKAI プロジェクト」は、堺北臨海部第2区暫定緑地（約90ha）を中核エリアとして想定している。「五感都市」では、都市基盤からライフスタイルまでシームレスに連続する。そのような五感の好みを実現するための様々なエネルギー技術、リサイクル技術の都市的実証実験、研究・開発を行っていく。利用者は公募し、そのモニターのフィードバックをさらに基盤技術開発にいかすことになる。

このプロジェクトは、「五感回復空間」の創出、「五感回復コミュニティ」の構築・運営、「五感産業」の育成・誘致、「五感都市インフラ」の整備、の4つの事業領域からなる（図1参照）。

このうち、「五感産業」の育成・誘致は、五感を回復するための新しい産業拠点を形成する。

五感産業とは、五感をキーワードにした産業であり、具体的には、化粧品、香・アロマ、衣装、食品、玩具、音楽、眼がね、福祉、ガーデニング、インテリア、カラーリング、各種セラピー、リラクゼーションツール、自然食レストラン、アクアバーなど多岐に渡る。

これらの五感産業のアンテナショップや工房（五感都市工房）を開設したり、五感産業に関わる研究開発拠点を誘致する。

(3) プロジェクト推進手法

プロジェクト推進のために「五感都市工房」（仮称）を設立する。「五感都市工房」はプロジェクトの企画立案・推進主体であり、サブ・プロジェクトの母体でもある。

五感都市工房のメンバーは、ディレクター、プロデューサー、アーティスト、研究者、専門家、事業推進企業などから構成される。「五感都市工房」は専門家による戦略組織で、戦略の立案から実施プロジェクトの管理までを行う。五感都市工房は、その成果をシンポジウム、ワークショップのほか出版を含め広く公開する。

同時に、市民、NPOなどの市民の幅広い参加を得て、生活者の視点からアイデア提案、ボランティア活動などを通じて行う「五感冒険団」（仮称）を設け、「五感都市工房」の活動を市民サイドからサポートしていく。

プロジェクトが具体化していく過程においては、関係事業者、自治体、研究機関、国などの関連機関が中心となって、主に事業化を検討する「五感コンソーシアム」（仮称）を設立していく。

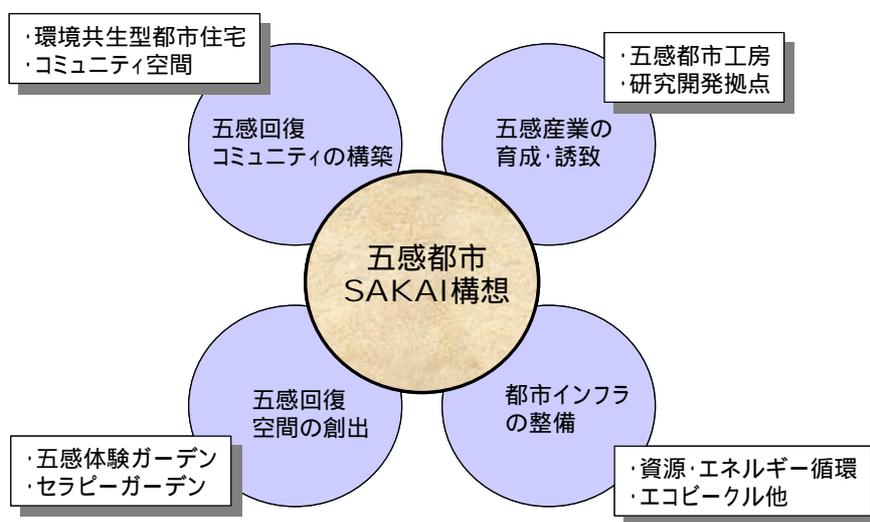


図1 五感都市 SAKAI における主な事業